

授業概要

講座の内容：工業簿記の基本を学習します。商業簿記で学んだ内容に更に製造業の購買・生産・販売の過程を工業簿記と原価計算の視点で学んでいきます。材料・労務費等から仕掛品、製品勘定の流れをつかむことが大切です。講義目的は、工業簿記の概要を理解し日商簿記検定試験レベルへ到達することです。主なテーマは、工業簿記の勘定連絡図を理解してから費目別計算、個別・総合原価計算、本社工場会計、標準原価計算、直接原価計算あたりまで講義します。

授業計画

第1回	工業簿記とは何か：製造業の特徴、工業簿記と原価計算、工業簿記の仕組み
第2回	材料費計算：材料費の定義と分類、材料の購入計算と記帳、材料費の計算と記帳
第3回	労務費計算：定義と分類、支払賃金と消費賃金の計算、労務費の記帳
第4回	経費計算：定義と分類、計算と記帳
第5回	製造間接費計算：定義、製品への配賦、固定予算と変動予算、配賦差異の原因分析と処理
第6回	第1回 中間試験（60分試験・30分解説）
第7回	部門費計算：意義と目的、原価部門の設定、部門費の集計、部門個別費と部門共通費、配賦
第8回	個別原価計算：意義、製造指図書、原価計算表、個別原価計算の方法・記帳、仕損費・作業屑
第9回	総合原価計算：特徴、月末完成品の計算（平均法と先入先出法）、記帳、減損と仕損品の処理
第10回	標準原価計算（1）意義、手続き、原価標準の設定と標準原価カード
第11回	標準原価計算（2）標準・実際原価の差異計算、標準原価の勘定記入、原価差異の会計処理
第12回	第2回 中間試験（60分試験・30分解説）
第13回	原価・営業量・利益の関係分析：CVP図表の書き方、基本公式、貢献利益、安全余裕率など
第14回	直接原価計算：意義と目的、方法と記帳、期間損益計算の改善、固定費調整
第15回	工場会計：意義、本社元帳と工場元帳の関係、合併財務諸表の作成
第16回	定期試験

到達目標

工業簿記の勘定の流れを理解すること。

履修上の注意

本学エクステンションセンターの「日商簿記検定2級講座」を受講して下さい。

予習復習

テキストの「例題」を毎日学習して下さい。

評価方法

中間試験 40%、定期試験 60%で評価する。授業態度不良者は「不可」評価とする。

テキスト

開講日に公表する。

（参考図書）

渡部裕巨、片山覚、北村敬子『検定簿記講義2級工業簿記』（平成27年度版）中央経済社

渡部裕巨、片山覚、北村敬子『検定簿記ワークブック2級工業簿記』（平成27年度版）中央経済社

実教出版企画開発部『平成27年度版 日商簿記検定模擬試験問題集2級』実教出版